

施設名	松竹株式会社 京都四條南座
分類	歌舞伎をはじめとする演劇などの興行
住所	京都市東山区四條通大和大道西入中之町198（京都市東山区四條大橋東詰）
連絡先	<ul style="list-style-type: none"> ・代表TEL：075-561-1155 ・営業時間：公演内容による ・Website： <ul style="list-style-type: none"> http://www.shochiku.co.jp/play/minamiza/ （松竹株式会社 京都四條南座 公式サイト） https://www2.ticket-web-shochiku.com/en/performance/00713032.html （「特別舞台体験」「歌舞伎ミュージアム」の説明 for English） http://www.kabuki-bito.jp/eng/top.html （松竹様による歌舞伎解説 for English）
施設概要	<ul style="list-style-type: none"> ・建物：国の登録有形文化財 元和年間(1615～)に京・四條河原に官許された七つの芝居小屋を起源とする南座の現在の建物は1929年建築。1991年に内部の大改装が行われ舞台機構や客席などが最新のものとなったが、歴史ある建築や意匠は継承されて建物随所に散りばめられている。 ・総座席数：1078席（1～3階） ・対応可能言語：日本語（展示物や催しによっては英語による説明文あり） ・レストラン、お土産などの売店あり。 ・公演ラインナップ、イベントは時期により異なる。 「特別舞台体験」「歌舞伎ミュージアム」については今後、春・秋に定期開催予定。 舞台体験：1000円（「歌舞伎ミュージアム」含む）ミュージアムのみ、500円）
舞台体験客層	<ul style="list-style-type: none"> ・国内：入浴者、一般観光客、学生（修学旅行・市内近隣学校） ・海外：一般観光客
研究会ねらい	<p>2013年より「特別舞台体験」と題し、一般客が歌舞伎の舞台機構（花道や迫り）を体験できる企画を実施。同時に、ロビーなどを使った歌舞伎小道具の展示「歌舞伎ミュージアム」を開催。これまでは国内客を主なターゲットとしていたが、今後インバウンドも考えていくとのこと。</p> <p>今回は実際に視察・体験を通じ、南座様の取組みを直接伺い、海外観光客に提供できるコンテンツに対する理解を深める。</p>
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・歌舞伎と南座の歴史： <ul style="list-style-type: none"> 約400年前に「出雲阿国」が創始したかぶき踊りが歌舞伎の起源と言われ、遊女歌舞伎、若衆歌舞伎などを経た後、男性俳優だけで演じる形となった。庶民からの圧倒的人気を懸念した幕府からの統制もあったが、江戸時代の見物の満足を満たす為の様々な工夫によって発展を続け、今日では日本が世界に誇る総合舞台芸術といわれる。南座は、禊祥の地で唯一歌舞伎を上演し続けている日本最古の歴史と伝統をもつ歌舞伎劇場であり、明治後期に京都新京極で創業した「松竹」が歌舞伎興行の近代化と合理化により歌舞伎の興行と製作を全国的に掌握し、今日に至る。ユネスコ世界無形文化遺産。 ・マーケティング： <ul style="list-style-type: none"> 各種団体や企業などの動員がマーケットの変容により徐々に個人客に移行しており、ネットを通じてチケット確保が容易にするなど販路も拡大。京の年中行事である歳末の「吉例顔見世興行」を中心に、花形歌舞伎や大歌舞伎、歌舞伎鑑賞教室など多彩な歌舞伎を上演されている。今回、観光都市・京都のマーケットリサーチを経て、低価格で短時間、歌舞伎ファンの満足度とそれ以外のお客様へ敷居を下げて歌舞伎の裾野を広げる啓発目的も合わせ、「舞台体験」などに力を入れられる。インバウンドの取組みも同軸上にあるとの考え。 ・インバウンド： <ul style="list-style-type: none"> 今回のイベントでは展示物、舞台体験に対し英語による説明文を提供。現在1日で20-30人の利用がある。他のイベント・公演でも、あら筋や配役を記載した英語パンフレットあり（有料販売）。

南座様との
意見交換会

参加人数：25名

(ホテル接客・営業担当、旅行会社、観光ガイド、イベント音響照明業者、外国人担当住職 他)

意見交換：

- ・舞台体験中に役者やスタッフが少しでも歌舞伎の演技ができるとリアリティがあって面白いと思う。役者と話ができればなおいい。
- ・舞台体験は言葉での説明は難しいが、視覚を通じて伝えられるので貴重な機会だ。
- ・東京の新歌舞伎座で席ごとにディスプレイでの解説あるが、外国人に対して何かあるか。
南座様：イヤホンによる解説があるが現在は日本語のみ。英語については検討中。
- ・歌舞伎の演技指導などがあれば面白いと思うが。
南座様：イメージに近いもので「歌舞伎鑑賞教室」というイベントがあり今年は4月末に行う。
- ・祇園にある「ギオンコーナー」に歌舞伎のコンテンツがあればいいと思う。
南座様：適合していると思われる。
- ・「舞台体験」に関しては外国人からの視点がもう少しほしいところ。
舞台での役者の名前や歴史上の人物などの細かな情報よりも、歌舞伎の雰囲気やエッセンスをとてもしっかり知っている。海外の芝居や舞台と比較して説明できればとても理解されやすいと思う。
南座様：貴重なご意見がもらえ非常にありがたい。今後の参考していきたい。
- ・外国人観光客にとって歌舞伎を見るのは時間的に難しい。短時間で感じられる一幕見席（演目の一部だけ鑑賞）できないか。
南座様：検討しています。通常3Fが該当の席になるが、途中入退場に対するオペレーションの課題など、クリアしなければならない点も多い。
- ・化粧・衣裳の展示、オプションで楽屋などのバックヤードもあればなおよいと思う。
南座様：お客様のご要望を今回もアンケート調査しており、次の参考にしたい。
- ・インバウンドをさらに狙うなら、京都のオフシーズン(6~9月、12~3月)にこの企画をすれば宿泊施設とのプラン造成出来ると思う。
南座様：開催時期の設定の参考とさせて戴き、地元の宿泊施設の皆様ともタイアップできればより活性化と広がりを感じたいと思います。
- ・1日1回でも英語による体験ツアーができれば人気が出ると思う。京都のナイトライフコンテンツは大阪、東京に比べ少し見劣りするの、夜に開催できれば面白い。
合わせて、情報リリースは渡航準備もあるので早めにされれば参加は充分あると思う。
南座様：夕方からの開催は次回のプランとして前向きに検討したい。



「舞台体験」では毎回案内の方の解説があります



「花道」の体験



「迫り」も体験させていただきました



同時開催「歌舞伎ミュージアム」展示物



早速、海外観光客が展示物を楽しんでいた



体験の後、南座様より事業概要の説明を頂いた



参加者からは熱心な質問、提案があった